

化学物質管理及び 環境対策の取組について

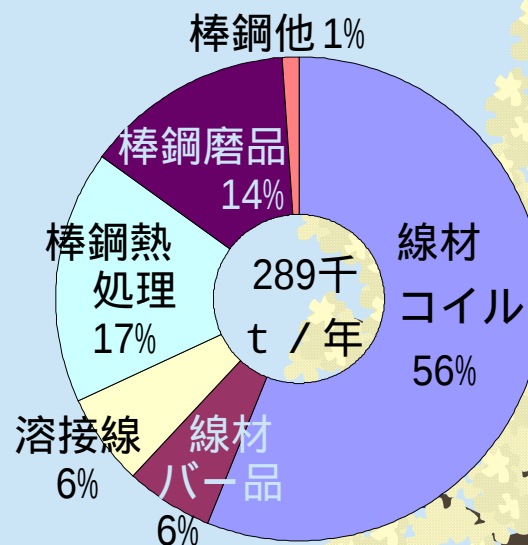
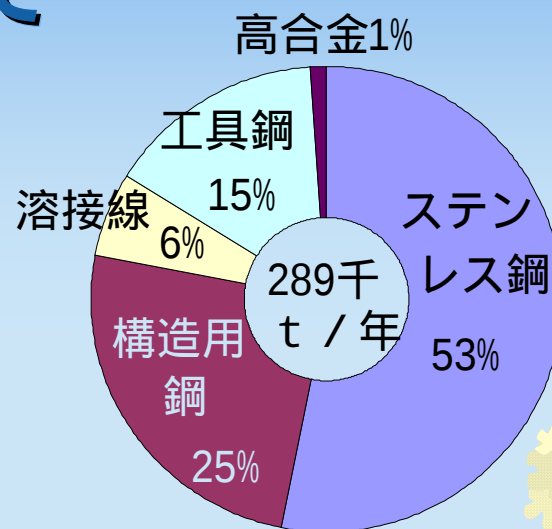
大同特殊鋼(株) 星崎工場

星崎工場の沿革

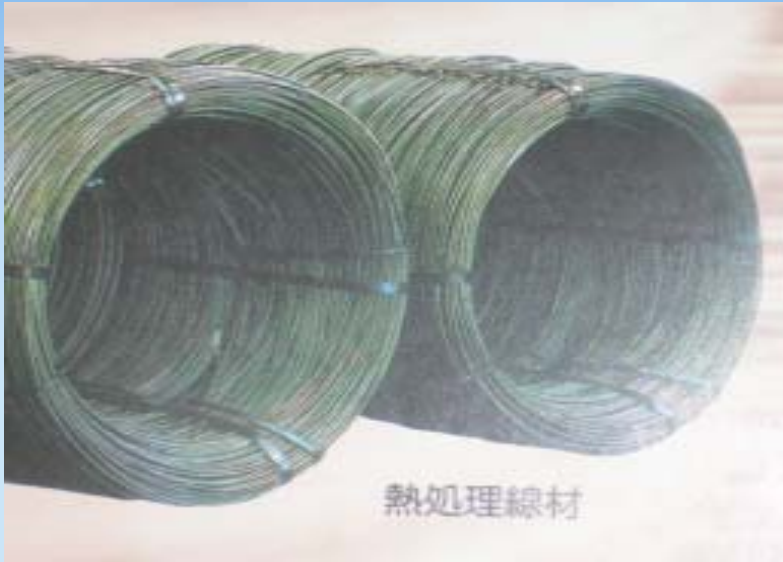
- ❖ 大正 5 年 大同製鋼株式会社創立
- ❖ 昭和 1 2 年 星崎工場稼働 (1 0 t アーク炉稼働開始)
- ❖ 昭和 1 3 年 圧延工場稼働開始
- ❖ 昭和 3 4 年 伊勢湾台風襲来により被災
- ❖ 昭和 5 1 年 3 社合併により大同特殊鋼へ名称変更
- ❖ 平成 7 年 溶解アーク炉の休止
- ❖ 平成 8 年 ISO 1 4 0 0 1 を取得
- ❖ 平成 1 3 年 コージェネレーション施設を導入
- ❖ 平成 1 8 年 重油使用の廃止

星崎工場の概要について

- ❖ 所在地
名古屋市南区大同町二丁目30
- ❖ 敷地面積
320,518m²
- ❖ 建物面積
124,046m²
- ❖ 従業員
630名、関連会社300名
- ❖ 主な生産品
ステンレス鋼、工具鋼、チタン
構造用鋼、溶接線



星崎工場の生産品



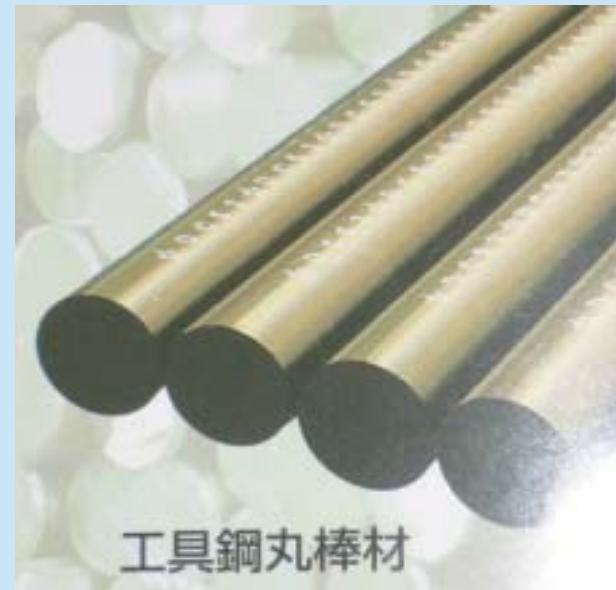
熱処理線材



工具鋼平角材



溶接線用線材



工具鋼丸棒材

工場の立地

大江川緑地公園

NTT

R
2
4
7

住宅地

大同特殊鋼
(株)星崎工場

三井化学(株)
名古屋工場

商業地

住宅地



環境方針

1. 環境への影響を十分認識し、地域との調和を図り、汚染の予防に努める。
2. 環境関連法規則、公害防止協定、地域住民との取決め事項を遵守する。
3. 環境目的及び環境目標を設定し、継続的な環境改善を全従業員で推進すると共に、定期的な見直しを行なう。
4. 全従業員に環境に関する教育・訓練を実施し、資質の向上に努める。

星崎工場におけるリスク管理

1. 化学物質の場内適正管理

- ・生産工程上での適正管理

2. 化学物質の外部排出管理

- ・大気への排出(有害化学物質)
- ・大江川への排水(//)
- ・廃棄物処理(//)

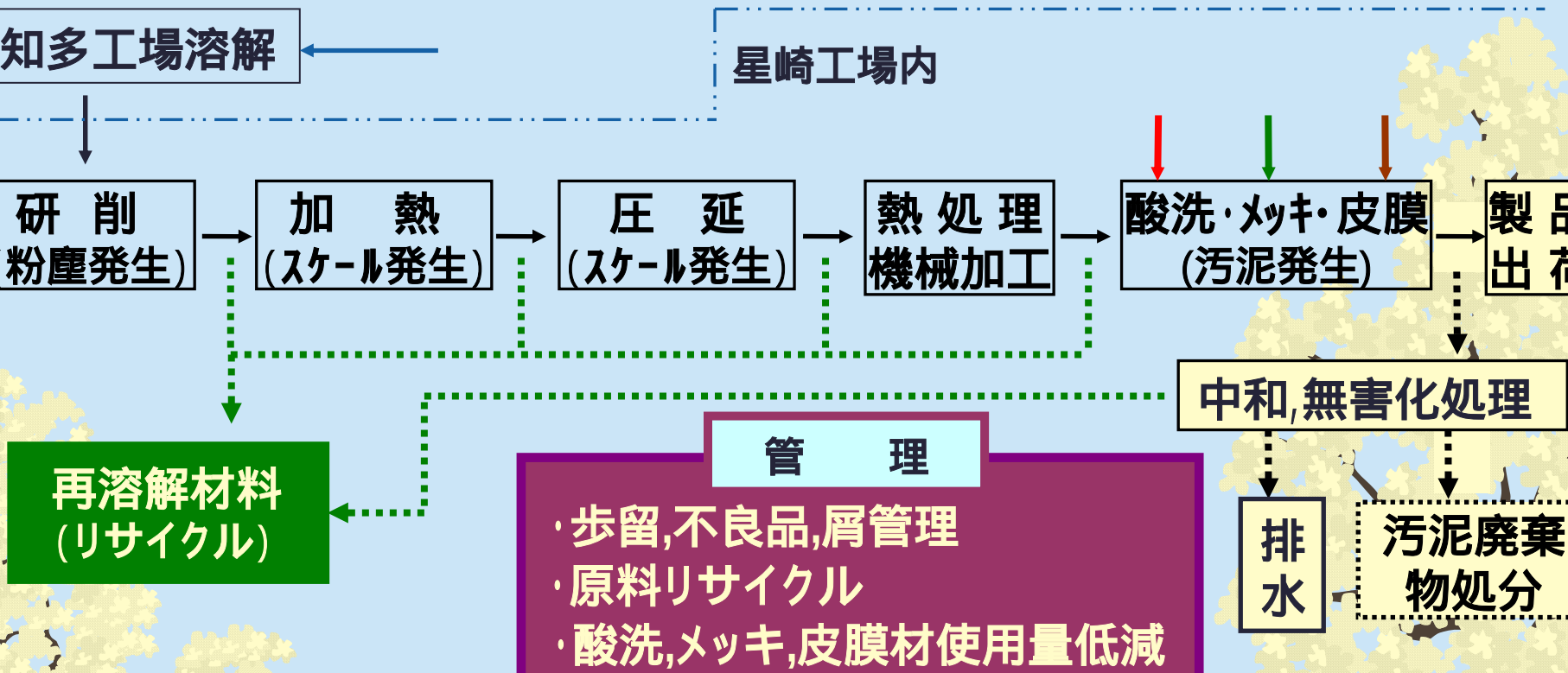
3. その他

- ・火災, 爆発事故、盗難他

生産工程上での適正管理

1. 使用化学物質

クロム及び3価クロム化合物	モリブデン及びその化合物
ニッケル, ニッケル化合物	ふっ化水素及びその水溶性塩
コバルト及びその化合物	無機シアン化合物
マンガン及びその化合物	亜鉛の水溶性化合物



化学物質の排出状況

P R T R の届出排出量 (平成17年度)

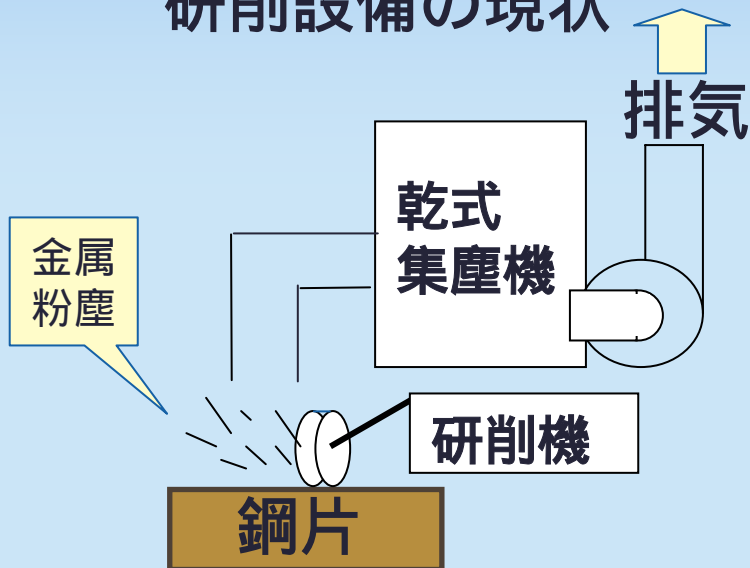
単位: kg

用途	化学物質の名称		大気への排出	水域への排出
ステンレスに含有		クロム及び三価クロム化合物	6.8	0.0
		ニッケル・ニッケル化合物	5.1	1,500
		コバルト及びその化合物	0.0	0.0
		マンガン及びその化合物	0.0	790
		モリブデン及び化合物	0.0	0.0
酸洗		ふっ化水素及びその水溶性塩	0.0	16,000
メッキ		無機シアン化合物	0.0	0.0
皮膜		亜鉛の水溶性化合物	0.0	180

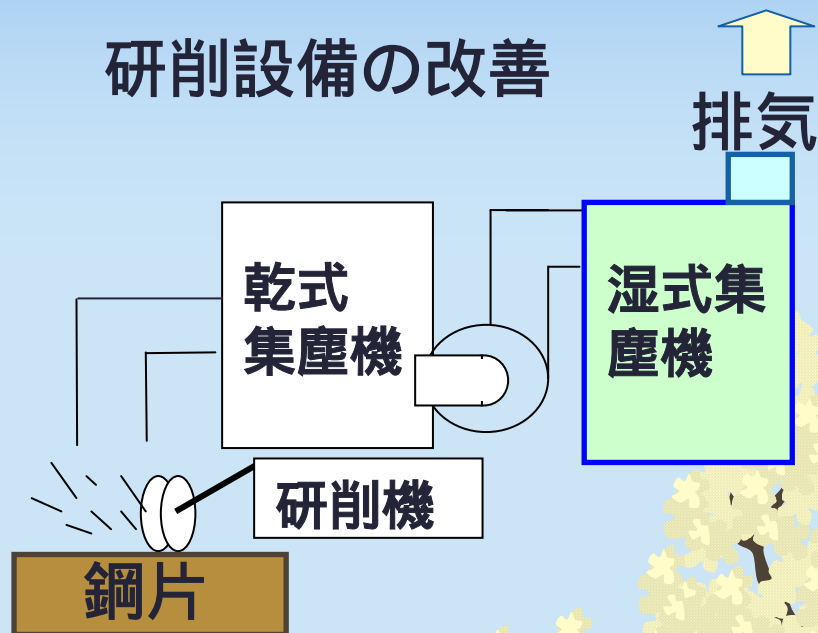
化学物質の外部排出管理(大気例)

1. 研削粉塵対策

研削設備の現状



研削設備の改善



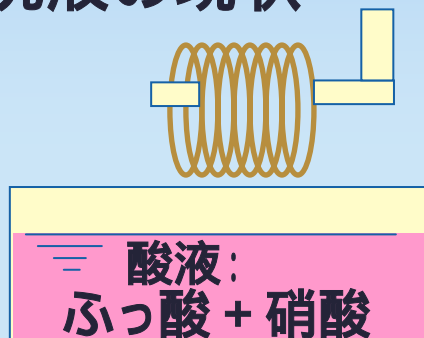
2. 硫黄酸化物排出ゼロ化

- ・平成18年6月をもって重油使用の停止
- ・重油タンクを撤去し、緑地化予定(1000m²)

化学物質の外部排出管理(水質例)

1. 排水中窒素削減

使用酸洗液の現状



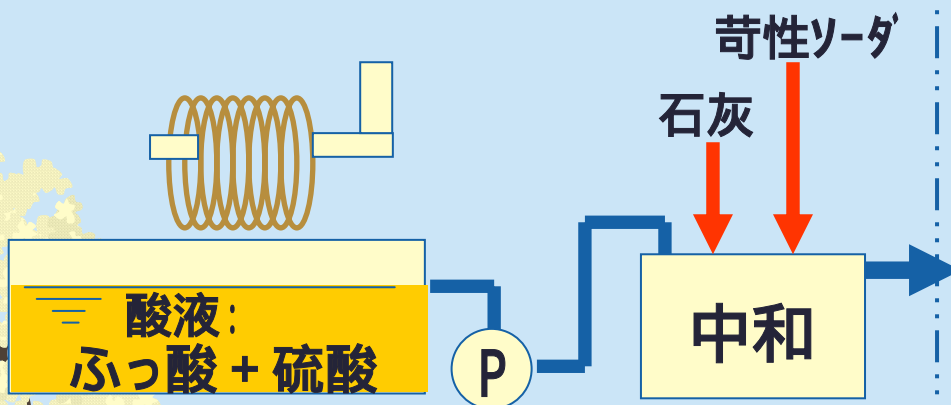
使用酸洗液の変更



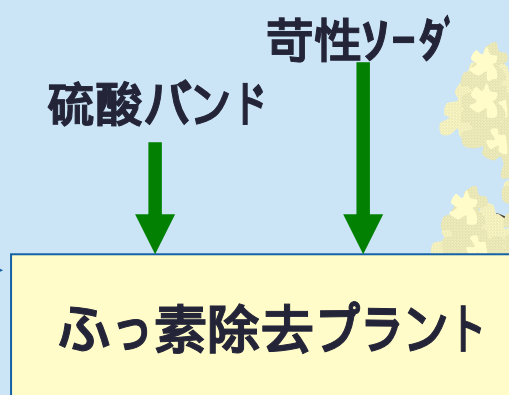
硝酸低減

▲ 70%

2. 排水中ふっ素削減



新 設

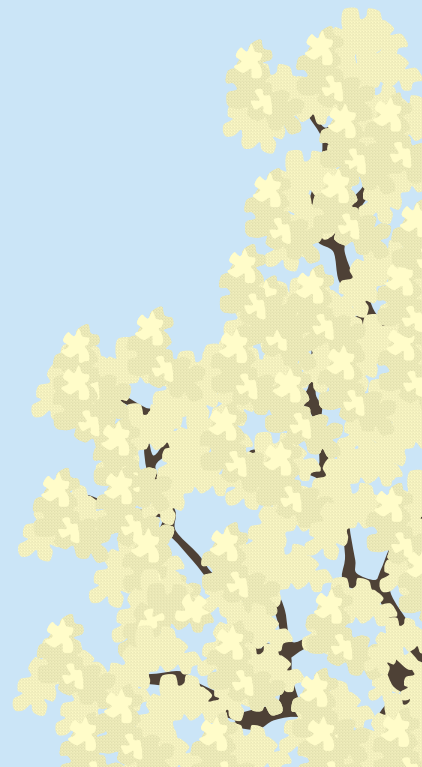
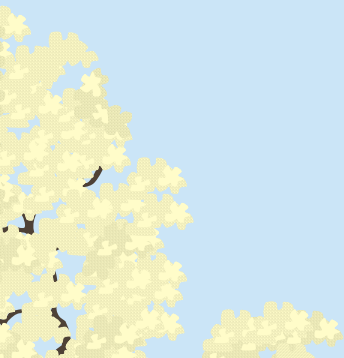


F濃度低減

▲ 75%

地域コミュニケーション・リスク低減活動

1. 開かれた工場
2. 地域との対話・交流
3. リスク低減活動



1. 開かれた工場

施設開放

- ・体育館、武道場、テニスコート、グラウンド
(使用者延べ 30,000人 / 年)
- ・ホタル園開園
- 工場見学会開催
- ・地域見学会
- ・学校見学会



星崎工場で羽化したホタル

2. 地域との対話重視

地域との懇談会

観桜会の開催

ホタル鑑賞会

秋の祭典(地域6 小学校運動会)

くすの木(地域6 小学校文化発表会)



3. リスク低減活動

製鋼アーク炉施設の廃止(' 9 5)

重油 → L P G → L N G へ燃料転換(継続中)

工場内緑化の推進(継続中)

コージェネレーション設備導入(' 0 1 年)

排水中ふっ素除去プラント稼動(' 0 4 年)

重油使用廃止、タンク撤去(' 0 6 年)

今後の取組み

1. リスクコミュニケーション活動の推進
工場環境活動報告書の作成
地域懇談会におけるリスク共有学習
2. さらなるリスク低減の推進
化学物質の低減推進
LPG → LNGへの燃料転換

工場の環境活動報告書の作成

大同特殊鋼株式会社

2006環境活動報告書

～ 2005年度実績～



大同特殊鋼株式会社星崎工場